

第2回

AI



医療ヘルスケア

シンポジウム

2021年1月20日(水)

13:00~16:55 Zoom ウェビナー

無料



申込締切 1月13日(水)

<https://forms.gle/BFVWanyKXdRGyehg8>

診断、治療の支援、
ビッグデータ解析など、
いまや医療ヘルスケア分野には
欠かせないAI技術。
アカデミア、スタートアップ、
京都大学での
研究開発事例や取り組みから、
デジタルヘルス分野の
最前線にせまる

主催 ● 京都大学大学院医学研究科「医学領域」産学連携推進機構
京都大学医学部附属病院先端医療研究開発機構

共催 ● 京都大学メディカルイノベーション大学院プログラム(卓越大学院)
京都大学オープンイノベーション機構
AMED「次世代医療機器連携拠点整備等事業」

第2回

AI × 医療ヘルスケア

シンポジウム

2021年1月20日(水)

13:00~16:55 Zoom ウェビナー

無料

申込締切
1月13日(水)

講演プログラム

13:00~ 開会挨拶

松田秀一 | 京都大学医学部附属病院 副病院長 / 次世代医療機器連携拠点整備等事業 拠点長

13:05~ AMED「次世代医療機器連携拠点整備等事業」のご紹介

山口太郎 | 京都大学大学院 医学研究科「医学領域」産学連携推進機構 特定講師

13:15~ 医療機器における人工知能(AI)の位置付け

鈴木孝司 | 公益財団法人医療機器センター 医療機器産業研究所 調査研究室 室長・主任研究員

14:05~ 臨床医起点の医療機器開発——世界に挑戦する日本の内視鏡AI

多田智裕 | 医療法人ただともひろ胃腸科肛門科 理事長 / 株式会社 AI メディカルサービス 代表取締役 CEO

14:55~ 休憩

15:05~ AIを支える医療言語処理とその応用アプリケーション

荒牧英治 | 奈良先端科学技術大学院大学 先端科学技術研究科 情報科学領域
ソーシャル・コンピューティング研究室 教授

15:55~ デジタルヘルス研究活性化のためのオープンイノベーション機構による取り組み

鈴木 忍 | 京都大学オープンイノベーション機構 プロジェクトクリエイティブ・マネージャー /
京都大学大学院 医学研究科「医学領域」産学連携推進機構 特定教授

がん患者に寄り添う医療を目指した「がんヘルスケア」研究の立ち上げ

山口 建 | 京都大学大学院 医学研究科 婦人科学産科学 講師

月経前症候群の診断支援、治療サポートアプリの開発

池田裕美枝 | 京都大学大学院 医学研究科 社会健康医学系専攻 健康情報学分野 博士課程

16:35~ 総括

妙中義之 | 国立循環器病研究センター 名誉所員 / 大阪大学国際医工情報センター 特任教授

16:50~ 閉会挨拶

渡邊 大 | 京都大学大学院 医学研究科 副研究科長 / メディカルイノベーション大学院プログラム プログラムコーディネーター



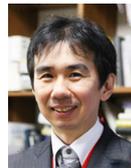
● 鈴木孝司

2002年、東京大学工学部卒。2007年、同大学院 新領域創成科学研究科博士課程修了。博士(科学)。手術支援ロボット、治療機器に関する研究に従事。博士課程前半は国立がんセンターへ国内留学し、医療画像処理を研究。2007年より東京女子医科大学先端生命医学研究所にて術中情報統合システム・手術工程解析の研究に携わり、医師主導試験やアカデミックシーズの産業化などにも関与。2014年9月より現職。医療機器産業振興に向けた産学官臨の橋渡しを目指し、調査研究・事業化支援に従事。特に Digital Health や人工知能(AI)の技術・規制・ビジネス動向に注目する。



● 多田智裕

1996年、東京大学医学部医学科卒。2005年、東京大学大学院外科学専攻修了。1996年6月 東京大学医学部付属病院 外科に入学。国家公務員共済組合虎ノ門病院 麻酔科、東京都教職員互助会三染病院 外科、東京大学医学部付属病院 大腸肛門科、東葛辻仲病院 外科を経て、2006年7月から武蔵浦和メディカルセンターただともひろ胃腸科肛門科院長。2012年3月東京大学医学部付属病院 大腸肛門外科学講座 非常勤講師、2017年9月にAI Medical Service Inc. CEOに就任。



● 荒牧英治

2000年、京都大学総合人間学部基礎科学科卒。2005年、東京大学大学院情報理工学系研究科博士課程修了。博士(情報理工学)。自然言語処理の医療応用に関する研究に従事。2020年4月から現職。



● 妙中義之

1976年、大阪大学医学部医学科卒。1980年から国立循環器病センター研究所人工臓器部で人工心臓、人工肺、ECMOなどを研究。2007年に同研究所副所長、2010年から研究開発基盤センター長を兼務。2018年から現職。内閣官房医療イノベーション推進室次長、AMED 医工連携事業化推進事業プログラム・スーパーバイザー、AMED 次世代医療機器拠点連携等整備事業プログラム・スーパーバイザーを務め、2020年からAMED 医療機器・ヘルスケアプロジェクトプログラム・ディレクター。日本人工臓器学会技術賞、産学官連携功労者表彰(日本学術会議会長賞)、科学技術分野の文部科学大臣表彰(研究部門)。